

2018年 イタリア・アルプス旅行記

アオスタ・ドロミテ・チロル10日間の旅行を楽しみました。

旅行期間 2018/06/19～06/28 記:西村静雄

最近のハイキングブームで、イタリアのドロミテ観光が人気のツアーになっていますが、今回も大学時代の山の仲間8人（2組の夫婦を含めて）で楽しむことができました。今までに、何回も一緒に海外旅行を楽しんでいる仲間なので気楽に参加できました。



トレ・チーメ（北イタリアの世界遺産ドロミテ）

今回のツアーの参加者は24名で、最高齢の方は84才男性の一人旅でした。全体的には、シェラトンホテル等を2連泊で楽チン又は、歴史的なホテルやアクセスのいいホテルでホテル環境は合格点でした。

また食事もほぼ満足でしたが、朝食に葉物野菜がほとんど無く、少し閉口しました。天候面も全日晴れで、アルプスの景色を満喫致しました。やはりこの時期が良かったと思います。

成田で皆と合流し、ミラノまで直行便のアリタリア航空で、12時間40分のフライトでした。座席も仲間と一緒になので、気遣いなしに着席はしましたが、やはり流石に長かったです。

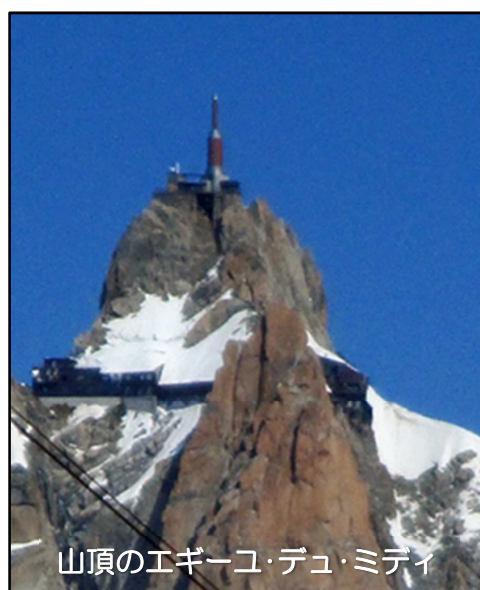
ミラノに到着後、専用バスでアオスクに向い城壁内のホテルに宿泊。各自でスーツケースを運びましたが、小さく遅いエレベータには少しびっくり。日本とは大違いを実感しました。

2日目、ホテルの朝食は野菜が少なかったですが、本物の蜂蜜の巣箱から直接パンに塗って頂き、とても美味しく満足でした。食事後バスでエントレベスに向かいました。

360度回転するロープウェーを乗り継いで、エルブロンネ展望台に20分で到着。下界で25度が展望台では0度で、気持ちいいを通り越して寒かったです。外は快晴で間近にモンブランが見え、そして少し遠くにはエギーユ・デュ・ミディ展望台がしっかり見えました。また、遠方にはかすかにマッターホルンも垣間見られて、とてもラッキーでした。



エルブロンネ展望台からモンブランを観る



山頂のエギーユ・デュ・ミディ

下山後バスで国境を越えフランスに入国し、モンブランに到着。モンブランでは、アプト式の小さな赤い登山列車でモンタンヴェール（標高2000m）に行き、メール・ドゥ・グラス氷河に降り立ち、氷河内のトンネルを歩きました。正に異次元の世界で寒かったですが、大いに楽しめました。再び専用バスでイタリアに戻り、アオスクのホテルに宿泊。



モンタンヴェール鉄道



メール・ドゥ・グラス氷河

3日目、のんびりとした佇まいのコーニュを見学後、逆さマッターホルンが映るブルー湖で休憩。そしてモンテ・チェルビーノ（スイス名：マッターホルン）が一望できるチェルビニアでミニハイキングを楽しみました。晴天に恵まれ、草花が咲き誇る丘に大きなモンテ・チェルビーノがそそり立ち、最高でした。



ブルー湖に映るチェルビーノ



チェルビーノを背に記念撮影

4日目、紀元前から既に景勝地として知られたシルミオーネを訪れました。イタリア最大の湖ガルダ湖に突き出した別荘地で、マリアカラスの別荘もあり、大勢の観光客が訪れていました。

専用のバスで、イタリアでもっとも美しい村のキウザを経由して、オーストリアのインスブルックに入りました。



ガルダ湖でボート遊び



昼食は本場のピザ

5日目、終日自由行動日なので、皆で乗り物1日乗り放題のインスブルック券を購入し、ロープウェーを乗り継いで、標高2500mのゼーフェルダー・ヨッホの展望台に到着。流石に寒く、ジャンパーを着て散策。ここでも、天候に恵まれ、アルプスの山々が楽しめました。下山後、市内のスーパーで食材を買い付け、ホテルの部屋で楽しく宴会をしました。



6日目、国境を越え、イタリアのシウジを訪れました。ゴンドラに乗り、アルペ・デイ・シウジに到着。そこは、広大な丘陵地帯が一面のお花畑が広がり、とても気持ち良かったです。美味しい昼食後、エメラルド色に輝くカレッツァ湖を訪れ散策。

バスで移動して、宿泊先のコルティナ・ダンベッツォに行き、街中のオープンテラスのレストランで夕食。ボリューム感あるサラダ、サンドイッチで満腹になりました。



シウジの大草原でゴンドラに乗る



カレッツァ湖

7日目、今回のドロミテ観光のハイライト、トレ・チーメ展望ハイキングへ。約1時間歩いた後、展望台に到着し持参した白ワインで乾杯。雄大な景観を楽しむことができました。ここも晴天で全体像が観られ大満足。「ドロミテの真珠」ミズリーナ湖畔を散策した後、宿泊先のボルツァーノに向かいました。

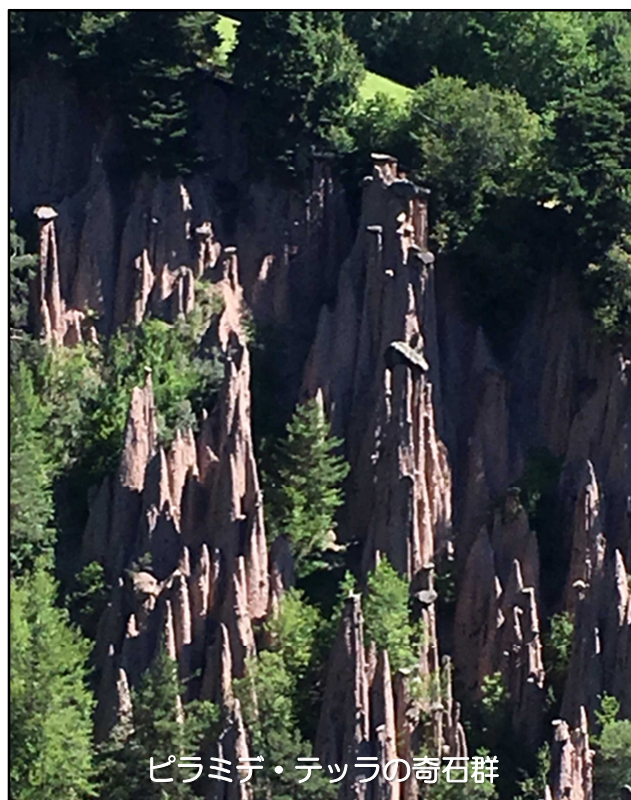


トレ・チーメのコルで乾杯

8日目、ロープウェーに乗ってソプラボルツァーノ行き、レノン鉄道に乗車してコッラルボに到着。車窓より、美しいドロミテの遠景を楽しみ、昼食後、サンタマッダレーナでチロルの世界、ドロミテの原風景を楽しみました。快晴の下、ドロミテの切り立った山々を楽しむことができました。



レノン鉄道



ピラミデ・テッラの奇石群

9日目、ボルツァーノのホテル近くのスーパーでお土産物をゲットして、ミラノに向かい、15時頃、直行便のアリタリア航空で成田に向かいました。

10日目、午前10時頃日本に到着。成田で皆と別れ、帰路に着きました。今回も1日たりとも傘をささなくてもいい天候に恵まれ、とてもラッキーな旅でした。帰りの機内では、次回の構想に思いめぐらせ、眠りにつきました。